原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/11/16号

マーケットエッジ株式会社 小菅努

取引所株価指数証拠金取引

くりっく株365



【現状確認】



（出所）LSEGよりマーケットエッジ作成

中東情勢の緊張緩和期待で上値重い

NY原油先物相場は、1バレル＝80ドル台中盤から後半で上値の重い展開になった。11月10日には83.88ドルまで値下がりし、8月28日以来の安値を更新している。中東情勢の緊張緩和期待を背景に、2週連続で下落した。米中間選挙後にトランプ米大統領はイランへの追加攻撃に慎重な姿勢を見せており、当面は外交協議による緊張緩和が模索されるとの期待が優勢になっている。ただし、トランプ米大統領はイランとのディール（取引）について「必要ない」との見方も示すなど、必ずしも停戦協議に積極的とは言い難い状況にある。このため、80ドル台前半では下値を支えられた。

米国とイランとの間の新たな軍事衝突は回避されているが、イエメン武装組織フーシ派のサウジアラビアに対する攻撃は続いている。サウジアラビアの東西パイプライン、紅海側の港湾都市ヤンブー付近の石油関連施設などが攻撃を受けている。軍事的な緊張状態を手掛かりに、押し目買いを入れる動きもみられた。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月6日時点）は、原油が前週比466万バレル増、ガソリンが180万バレル増、石油精製品が407万バレル増となった。

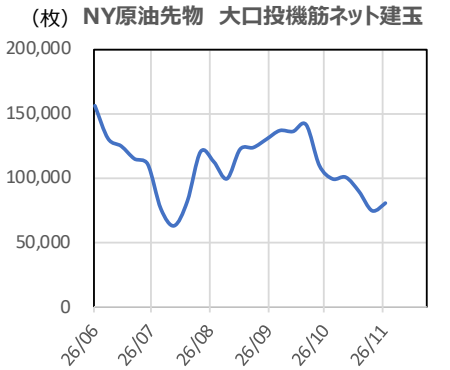
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【展望】

緩やかな値下がりが続く、中東リスク軽減と供給過剰見通し

中東情勢に強く依存するが、緊張緩和期待が維持されると、戻り売り優勢の展開が続く見通し。トランプ米大統領は、イランに対する追加攻撃に慎重な姿勢を維持しており、当面は外交協議が続く可能性が高い。米国とイランの停戦協議再開の見通しが立つと、80ドル台前半を試す可能性もある。トランプ米大統領は、イランとのディール（取引）を否定するなど、イラン情勢への関与を弱める可能性も意識されるが、少なくとも軍事的な緊張の高まりがみられなければ、下値を切り下げる展開が続く可能性が高まる。



（出所）CFTCよりマーケットエッジ作成

国際エネルギー機関（IEA）は、10～12月期の国際需給バランスは改めて供給過剰となり、2027年に供給過剰幅が拡大するとの見通しを示した。10月の世界の石油在庫は5,200万バレル増加し、6月以来で初めてプラスに転じた。需要の弱さが続く一方、供給量が急激に増加していることが、在庫積み増しの再開を促し始めた。ディーゼル需給のひっ迫、供給リスクの高さから先行き不透明感は強いが、中東情勢にさらに大きな混乱が生じなければ、供給過剰が続く可能性が高まっていることは原油相場にネガティブだ。原油相場のダウントレンドを後押しする報告内容と言える。



（出所）EIAよりマーケットエッジ作成

ただし、中東情勢は依然として不安定だ。イランは11月13日、湾岸諸国の米軍施設に対する攻撃を行っている。また、イエメン武装組織フーシ派はサウジアラビアの石油関連施設に対する攻撃を続けている。原油供給に大きな混乱が生じた際には、90ドル台前半まで切り返す可能性がある。米国とイランの停戦協議が決裂するリスクが高まった際にも、安値修正が促されよう。まだ突発的な急伸リスクにも注意が必要な、不安定な地合が続く見通しだ。



（出所）Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社 （Marketedge Co., Ltd.）
【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21　BIZ SMART 茅場町 321号
【URL】 https://www.marketedge.co.jp/
【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール
1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報はツイッターで

©Marketedge Co.,Ltd. All Rights Reserved.